## 工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する。

令和 6年4月1日改訂 別紙-3① 十木用(第3評定者) 考查項目 3.出来形及 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 び出来ばえ 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準や規格 I.出来形 き行われており、測定 | き行われており、測定 | き行われており、測定 | き行われており、測定 き行われており、測定 値を満足せず、不適合 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 に該当する。  $a \sim b$ ' ( $b \sim b$ '  $\stackrel{\text{?}}{=}$ ) そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 の概ね50%以内で、 の概ね50%以内で、 の概ね80%以内で、 の概ね80%以内で、 に該当しない。 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 の 5 項目以上が該当す の 4 項目が該当する。 の 4 ( 4 注) 項目以上が該 の 3 ( 3 <sup>注</sup>) 項目が該当 当する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 別紙-3の作成は別紙-5により行う。 (3)主たる工種 (1) ばらつき判断の可否 ・ばらつき判断できる・ばらつき判断できない。(いずれかを○で囲む) 注 測定結果の打点数が少なく、**ばらつき判断できない場合**は「評価対象項目」のみで評価するものとし、( )内の評価項目の数で評価する。 ばらつき判定 測定項目名 ( 規格値の50%以内の数( 測定値数( " 80%以内の数( ばらつき判定結果  $\cdot 50\%$ 以内  $\cdot 80\%$ 以内  $\cdot 80\%$ 紹 (いずれかを $\bigcirc$ で囲む) 【評価対象項目】 1. 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。 2. 不可視部分の出来形が写真・資料等で的確に判断できる。 3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 4. 写真管理基準の管理項目を満足している。 5. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。 6. □5. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。 7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 8.その他(理由 ●判断基準 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ばらつき判断できる ばらつき 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 50% 80% 80% 判断でき 出来形管理とは、「十木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準 以内 以内 招 ない 及び規格値に基づき所定の出来形を確認する管理体系である。 評価 5項目以上 a b b ④ その他は、1~7以外の項目で特に評価する場合などについて、独 項目 4 項目 自に設定するものとする。 b ' b ' b ' 3 項目

別紙-333							(第3評定者)	
考査項目	工 種	a	a ,	Ъ	b '	С	d d	
3.出来形及び出来ばえ Ⅱ.品質	上記以	※ばらつきの	の履行状況(評価値) -木工事施工管理基準 )判断は別紙ー4参照 )作成は別紙ー5によ	生、その他設計図書に 号。	結果のばらつきとか こ定められた試験】	ら判断する。	□ 品質関係の試験 結果が規格値、試験 基準を超え不適合は 該当する。	
		【評価対象項目】 □ <u>理由:</u> □ 理由:				① 当該「評価対象項目」のうち、		
		□ <u>理由</u> : □ <u>理由</u> : □ <u>理由</u> :				価項目数を母数 計算の値で評価 ③評価値(%): /対象評価項目 ④なお、削除後の	てとして比率(%) { iする。 =該当項目数( ) {	

※既様式では評価しがたい場合に適宜評価項目を設定する。

## ●判断基準

□ 理由:

□ 理由:

□ 理由:

		ば	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評価値	90 %以上	a	a'	ь	a'
	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b
	60 %以上 75 %未満	b	b'	c	b'
	60 %未満	b'	С	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

(第3評定者) 別紙-343 考查項目 Ι. 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3.出来形 コンクリート ●評価対象項目 ●判断基準 及び出来二次製品水路 □1. コンクリート二次製品の肌が良い。 該当5項目以上・・・a □2. コンクリート二次製品の通りが良い。 ばえ 工事 該当 4 項目 · · · · b □3. 法面、端部の埋め戻し等の仕上げが良い。 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・d Ⅲ.出来  $\square 4$ . D = 0□ 5. 附帯構造物とのすりつけがよい。 ばえ □ 6. 全体的な美観が良い。 ●評価対象項目 ●判断基準 ため池工事 該当5項目以上・・・a □1. 土工の仕上げが良い。 □2. 十工の構造物へのすり付け等が良い。 該当4項目・・・・b □3. 植生の状態が良い。 該当3項目・・・・c □4. コンクリート構造物の通りが良い。 該当2項目以下・・・d □5. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □6. 全体的な美観が良い。 水路補修工事 ●評価対象項目 ●判断基準 □1. 小構造物等にも注意が払われている。 該当3項目以上···a 該当2項目以上・・・b □2. きめ細かな施工がなされている。 □3. 既設構造物とのすり付けが良い。 該当1項目以上・・・ c □4. 全体的な美観が良い。 該当項目なし・・・d ●評価対象項目 上記以外の工事 ●判断基準 該当4項目以上・・・a □ 理由: 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・d □ 理由: □ 理由: □ 理由: ※当該工種からの5項目程度とする。 多工種複合工事 ※別紙-3⑤~別紙-3億の中から適宜様式を1種類選定して評価する。